



市長発表2

令和7年11月11日

各報道機関支局長 様

富士宮市長

(件名) 日本酒をテーマとした宿泊施設のオープンに伴う、呉竹荘と市内4酒蔵による市街地観光の活性化	(担当) 企画部 企画戦略課 地域政策推進室 担当氏名 市川 紫音 電話 0544-22-1215 内線 2319
セールスポイント	富士宮駅前の新ホテル（町屋型宿泊施設）建設に合わせた連携が始動
【 ☐ 告知希望 ☒ 当日取材希望 】 (内容) 富士宮市は、これまでホテル誘致を進めてまいりましたが、この度、浜松市に本社を置く宿泊事業者「株式会社呉竹荘ホールディングス」（以下「呉竹荘」といいます。）が新しく富士宮駅前にヴィラタイプの町屋型宿泊施設を建設することとなり、令和8年春に工事着工予定となっております。 この町家型宿泊施設の建設をきっかけとして、呉竹荘と富士宮市内の酒蔵4社（富士錦酒造・牧野酒造・富士高砂酒造・富士正酒造）が連携し、地域の酒文化と観光を結びつけた新しいまちづくり事業を進めることとなりました。 このまちづくり事業では、酒蔵見学や試飲体験、地元の食と酒の組み合わせ企画など、地域の魅力を発信する取組を進める予定です。 【キックオフミーティング】 日時：令和7年11月18日(火) 12:45～13:30 場所：市役所3階 来賓応接室 内容：呉竹荘、市内酒蔵4社及び市によるキックオフミーティング 【今後のスケジュール（予定）】 ・工事開始 令和8年春 ・完成予定 令和9年春 ※ 詳細は、別紙をご参照ください。 (添付資料) プロジェクト詳細内容	

☐ 課長

☐ 係長

富士宮市まちづくり企画提案書

—「富士宮 町屋・酒造ストーリーズ」—

～JR 富士宮駅前町家型宿泊施設×酒造連携プロジェクト～



株式会社呉竹荘ホールディングス

1. 計画の背景

- 富士宮市は「富士山本宮浅間大社」や「湧水文化」、「富士宮やきそば」など地域資源が豊富。
- 町屋型宿泊施設「KURETAKE STAY Fujinomiya」の開業を契機に、酒蔵（富士正・富士高砂・富士錦・牧野）と連携し、観光回遊性を高める。
- 発酵文化×SDGs×観光を融合し、新しい地域ブランドを形成。

2. 事業概要

事業名：富士宮 町家・酒蔵ストーリーズ

目的：

- ・酒蔵と宿泊施設の連携による観光振興
- ・若者や学生参加による新たな商品・サービス開発
- ・SDGs 視点での発酵文化継承と地域活性化

3. プログラム概要

① 酒蔵ペアリング宿泊プラン

- ・各酒蔵の銘柄と宿の夕食を組み合わせた利き酒付宿泊プラン。
- ・富士宮やきそばや地元野菜を使用したペアリング料理。

② 発酵×SDGs 学習・体験プログラム

- ・酒造り体験（仕込み・試飲）。
- ・学生による新商品（発酵スイーツ・カクテル）の開発。

③ まち歩き酒蔵ツアー

- ・富士宮駅前宿泊施設を拠点に4蔵を巡る。
- ・スタンプラリー形式で観光PR。

④ ブランド発信拠点

- ・宿泊施設1階ロビーに酒蔵ギャラリー設置。
- ・年1回「富士宮ペアリングフェス」開催。



4. 事業展開案

① 酒蔵を核とした観光ルート整備

【実施内容】

市内4酒蔵を結ぶ「酒蔵めぐり街道」を造成。徒歩・自転車・シャトルバスで巡れるルートを設定し、スタンプラリーや「共通試飲パス」を導入。観光案内所や駅と連携して情報提供。

【期待効果】

周遊滞在時間の延長、地域飲食店や宿泊施設への波及効果。



② 食と酒のペアリングイベント

【実施内容】

富士宮やきそば、ジビエ、湧水仕込みの料理と各酒蔵の酒を組み合わせた「ペアリングフェス」を開催。飲食店も巻き込んで市内一体型イベントに。

【期待効果】

地元食材の価値向上、酒蔵と飲食店の新規コラボによる経済波及。



③ 酒蔵×文化・アートイベント

【実施内容】

酒蔵を会場にした音楽ライブ、現代アート展示、伝統芸能（能・和太鼓・書道パフォーマンス）を定期開催。

【期待効果】

若年層やインバウンド客の来訪促進、歴史的建物の活用による新しい価値創造。



④ 教育連携プログラム

【実施内容】

高校・専門学校、大学と連携し、酒造り体験や「発酵×SDGs」学習プログラムを実施。学生による新商品の提案や観光PR活動も導入。

【期待効果】

若者の地元愛の醸成、人材育成、地域企業との協働機会創出。



⑤ 市民参加型の新商品開発

【実施内容】

市民や観光客からアイデアを募り、4酒蔵共同で新しいブランド酒を開発。パッケージデザインは一般公募。

【期待効果】

市民参加意識の醸成、地域ブランドの発信力強化。



5. 期待される効果

- ・観光振興による交流人口増加
- ・地域経済の活性化
- ・若者や市民の郷土愛醸成
- ・環境教育・持続可能性の発信

持続可能な地域ブランドを確立することを目指します。

企画書追記事項（株式会社呉竹荘ホールディングス様より）

・富士宮市にヴィラを建設することになった背景・コンセプト

弊社では、コロナ禍後のインバウンド（訪日客）の回復や、グループ旅行を好む若い世代のニーズに応えるため、1棟貸しの「ヴィラ」形式の宿泊施設を新たな成長の軸として展開しております。

静岡県内有数の観光資源である富士山を擁し、豊かな自然と歴史文化が息づく富士宮市は、このヴィラ事業を展開する上で非常に魅力的な立地であると判断いたしました

・どうして富士宮のヴィラテーマを「日本酒」としているのか

法隆寺のヴィラが「アート」や「世界遺産」をテーマに、その土地の歴史的背景と調和させているのと同様に、富士宮のヴィラでは、富士山の清冽な伏流水や豊かな食文化といった、富士宮市が誇る地域資源に着目いたしました。

具体的には、これら4酒造の皆様とも連携させていただき、ヴィラ内での各酒造様の日本酒の提供や、飲み比べ体験、さらには酒蔵見学ツアーといったアクティビティを組み込むことを検討しております。ヴィラを拠点に、地域の酒蔵や食文化に深く触れる特別な体験を提供し、滞在価値を高めてまいります。

・今回のヴィラ建設と一般の宿泊施設との違い

「棟貸し」によるプライベート空間の提供：最大の違いは、建物1棟を貸し切る「ヴィラ（棟貸し）」形式である点です。法隆寺ではキッチンや半露天風呂を各棟に設ける計画であり、グループや家族が周囲を気にせず過ごせる良質なプライベート空間を提供します。これは、一般的なホテルとは一線を画す体験です。

地域文化と融合した滞在体験：単に宿泊するだけでなく、法隆寺の「アートに触れるラグジュアリーステイ」のように、富士宮では「日本酒」というテーマに基づいた内装やアメニティ、体験（例：利き酒、酒蔵見学ツアー）を提供します。

・このヴィラ建設を通じて、呉竹様の目指すところ

弊社の目指すところは、先行する斑鳩町での事業と同様に、「地域に根差した宿づくり」を通じて、富士宮市の観光振興と地域経済活性化に貢献してまいります。

このヴィラ事業を、新たな宿泊事業の形態として育てていくとともに、単なる宿泊施設に留まらず、富士宮市の魅力を国内外に発信する「拠点」として、市や地域の皆様と共に発展していくことを目指しております。

〈施設外観イメージ〉



「富士宮 町屋・酒造ストーリーズ」

～JR 富士宮駅前町屋型宿泊施設×酒造連携プロジェクト～

キックオフミーティング

令和7年11月18日（火）午後0時45分から
富士宮市役所3階 来賓応接室

次 第

- 1 開 会
- 2 出席者紹介
- 3 富士宮市長挨拶
- 4 株式会社呉竹荘ホールディングス挨拶
- 5 富士錦酒造株式会社挨拶
- 6 写真撮影
- 7 歓 談
- 8 閉 会